

留萌建設協会との意見交換会

1 日 時 平成13年5月9日(水) 13:30~15:30

2 場 所 留萌建設協会応接室

3 出席者 留萌建設協会関係者 16名
北海道総務部入札指導監察監室 2名
留萌支庁総務部会計課事業管理室 2名

4 意見の内容(要旨)

ランダム・カット式指名選考について

- ・ ランダム・カットは、現場に近隣する業者が指名からはずれてしまうことが多々あるし、同一業者が連続してカットされている状況も見受けられる。
- ・ ランダム・カットを段階的に縮小していく方向にならないか。

指名業者名の公表について

- ・ 競争相手を見て応札価格を決定するため、入札まで競争相手がわからないでは、入札に臨む心構えができないので、指名通知時に指名業者名を公表して欲しい。

不良不適格業者の排除

- ・ 指名業者数が増えたことによって、施工に疑問のある実績のない業者の選考も見受けられる。万が一、履行できないようなことが一回でもあれば、建設業界全体の信用問題になる。

共同企業体について

- ・ 共同企業体の結成は、土現の場合、全道10土現のうち3ヵ所までとなった。過去に全道各地でJV結成を認められ、全道一円で仕事をしていた業者は設備投資を行っているので、共同企業体が認められなければ死活問題である。今までどおりの取扱いにならないのか。

指名選考について

- ・ 離島についても工事ランクどおりの原則等級の指名を行っているが、ランクによっては離島に設備をもっていない会社も多いことから、全等級を対象に設備を有している会社を指名するなど、業者選考にあたって工夫ができないか。
- ・ 施行成績が良かった業者を次の指名の際に優先するなど、施行成績を重要な選考基準として指名選考をして欲しい。
- ・ 建設業は管内の基幹産業で、地域の雇用など地域経済の発展のためにも、技術力を評価したうえで、最大限地域の業者を優先して指名して欲しい。

工事施行成績について

- ・ 発注機関によって施行成績評点にばらつきがある。客観的な評価が行われるようにして欲しい。

建設業界の再編について

- ・ 協会内でも、建設投資の縮減等建設業を巡る諸情勢に対応した今後の建設業の在り方について検討しているが、現実問題として、各業者の内情がわからないなど、業者間同士では合併等を進めることは難しい。
- ・ 管内は、建設業に携わるウエートが高いので、倒産等によって地域経済が大混乱するなど最悪な事態を招かないために、行政の立場で建設業界の再編とその対策を推進すべきである。

その他について

- ・ 今後の見積りの参考とするため、低価格で落札した業者の見積書を公表して欲しい。
- ・ 公務員倫理に関する規則等が施行されてから、発注者と受注者との真摯な意見交換や勉強会、打ち合わせもできていないが、節度ある中での対応はあるべきだ。